

■施工される方へのお願い

- この説明書は施工完了後、お施主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

- 製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
- 設置条件
 - 母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。
 - 本製品は、積雪地域用1500形（積雪50cm以下の地域用）です。
 - 本製品は地面設置専用です。2階以上の高所に取り付けると、強風により製品が破損するおそれがあります。
 - 柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
 - 崖などの高低差のある場所には設置しないでください。
- 部材の固定
 - タッピングねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。（φ4のねじに対しφ3.5、φ5のねじに対しφ4.5のドリルを使用してください。）
 - 必ず指定の組立てねじ・ボルトを使用してください。又、施工後、ねじ・ボルトに緩みがないか点検してください。
- 施工時の足場について
 - 折板端部を固定するまで、屋根には絶対にのらないでください。



▲注意

- 基礎について
 - 基礎の大きさは、指定寸法以上にしてください。
 - 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
 - 地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないようご注意ください。
 - コンクリート（またはモルタル）には海砂や急結剤は絶対に使用しないでください。アルミが腐食するおそれがあります。
 - 柱内の水抜きができるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷いてください。また柱の根元にも水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
 - 養生期間は十分（4日～1週間）とり、その間重いものをのせたり、振動させたりしないでください。
- 絶縁処理について
 - アルミ材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 屋根材について
 - 屋根材は当社指定品をご使用ください。
- 施工について
 - むやみに改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・四周の囲い等）をしないでください。
 - 取付けは施工業者の方以外は行わないでください。不具合発生の原因となることがあります。
 - シーリング指定箇所には必ずシーリング材を充て込んでください。

■お施主様へのお願い

▲注意

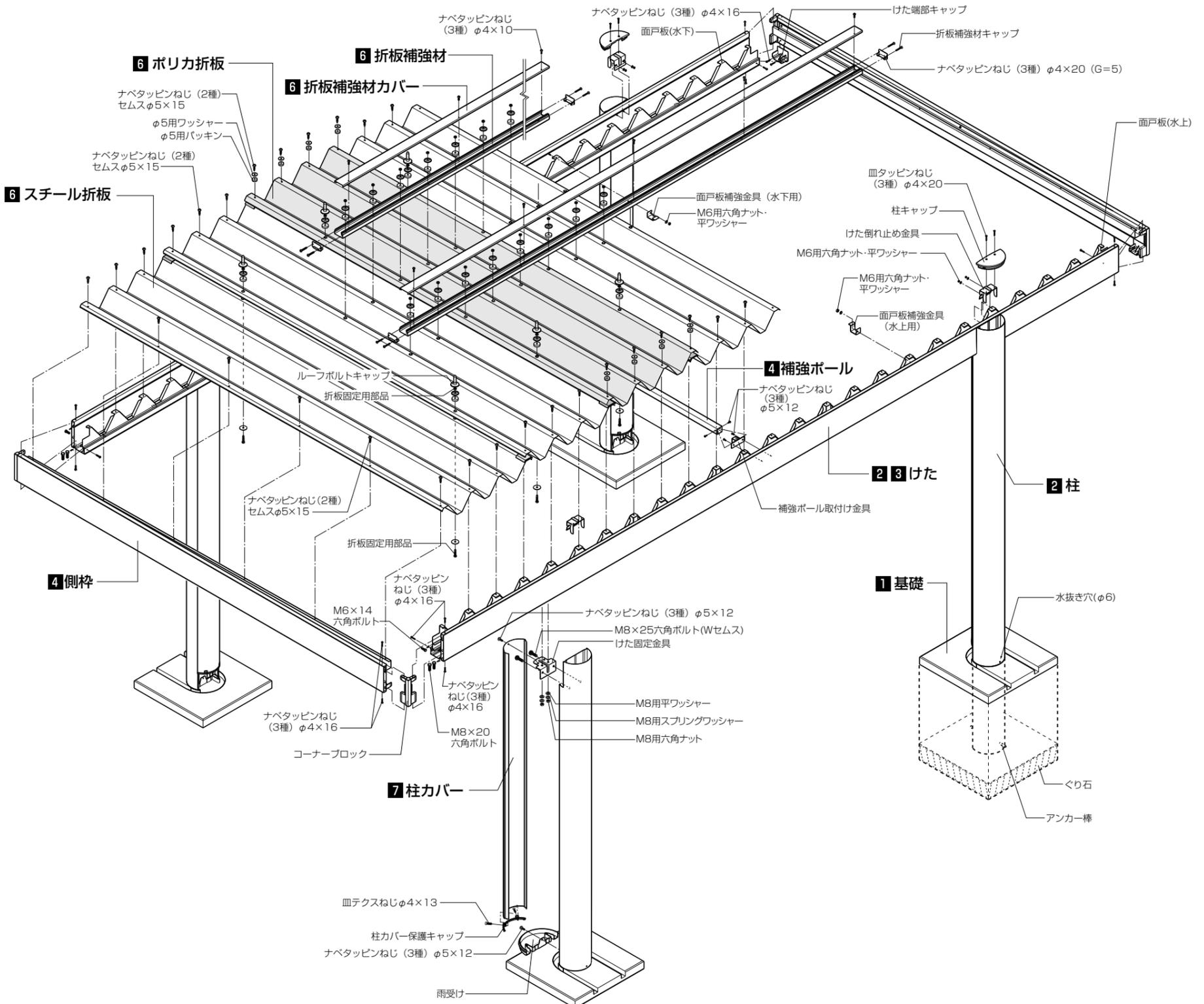
- 雪下ろしなどの際、屋根には絶対にのらないでください。転落するおそれがあります。
 - 電線などの電線を巻き付けしないでください。漏電するおそれがあります。
 - 本製品（積雪地域用1500形）は、積雪量が50cmになる前に必ず雪下ろしをしてください。製品破損による被害のおそれがあります。
- ※積雪量1cm当たり3kg/m²として計算しています。湿った雪の場合等は、雪がさらに重くなりますので早めに雪下ろしをしてください。また、雪下ろしの際、絶対に水をかけないでください。雪がさらに重くなります。

お願い

- 当社指定の付属品以外は取り付けしないでください。
- 屋根の上に物をのせないでください。
- ボルト・ナット・ねじ等は絶対に緩めないでください。
- 雪おろしの際、金属製のスコップ等を使用すると屋根が割れたり傷つく原因になります。プラスチック製のスコップ等で静かに行ってください。
- 柱が雪に埋まらないよう、こまめに除雪してください。柱カバーが破損するおそれがあります。

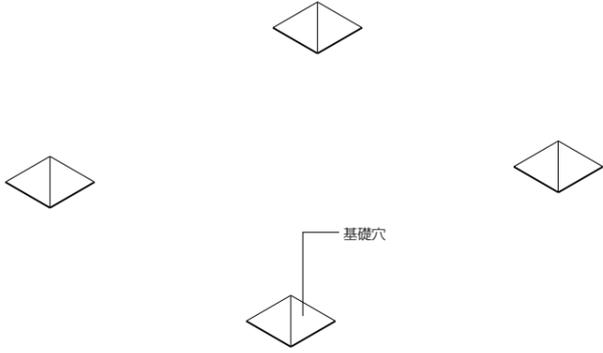
■構成図

※本図はポリカ折板取付け時を表す。



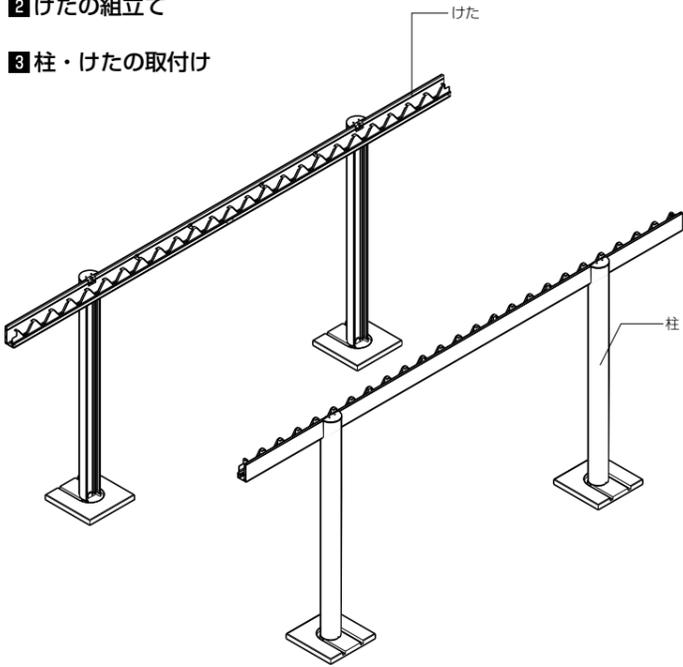
■取付け順序

1 基礎の施工

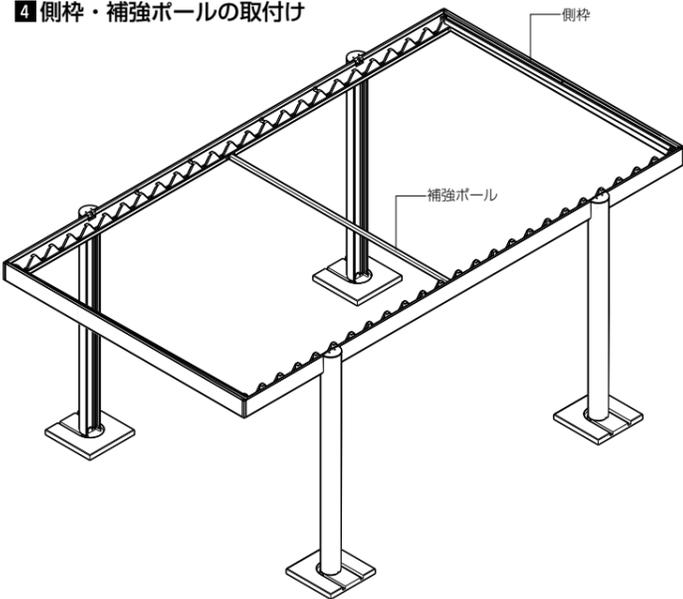


2 けたの組立て

3 柱・けたの取付け



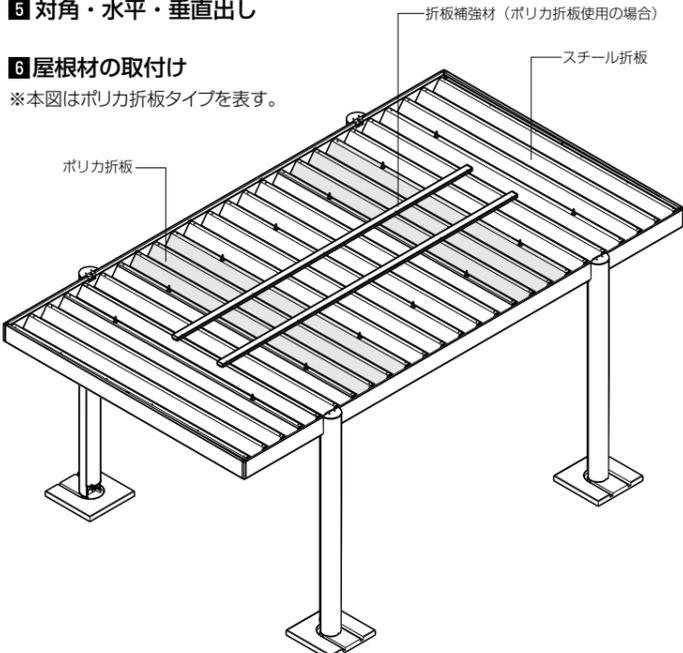
4 側枠・補強ボールの取付け



5 対角・水平・垂直出し

6 屋根材の取付け

※本図はポリカ折板タイプを表す。

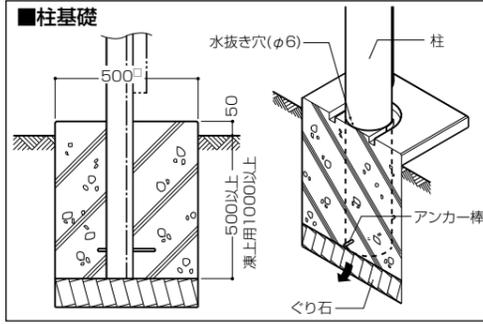


7 柱カバーの取付け

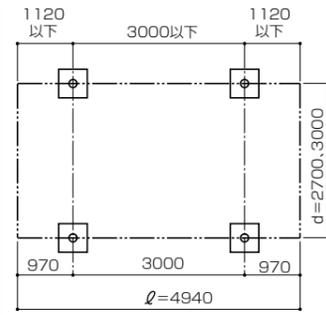
■取付け詳細

1 基礎の施工

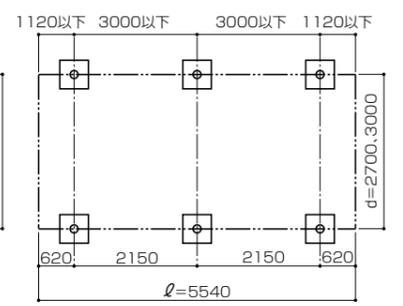
●柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。



■墨出し位置 (50サイズ)

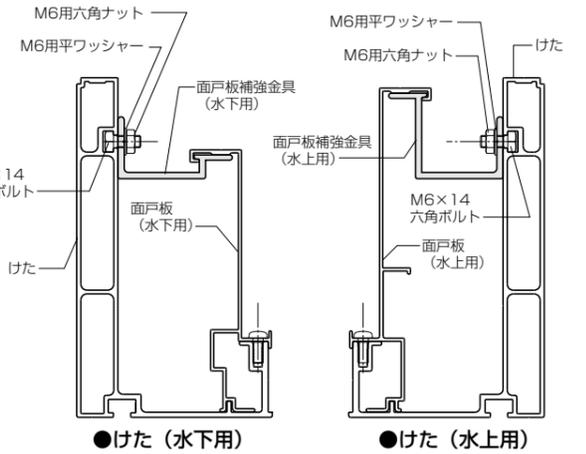
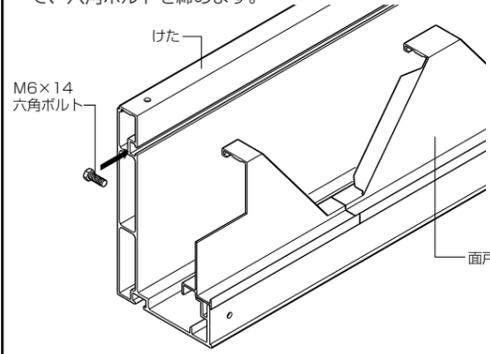


(56サイズ)



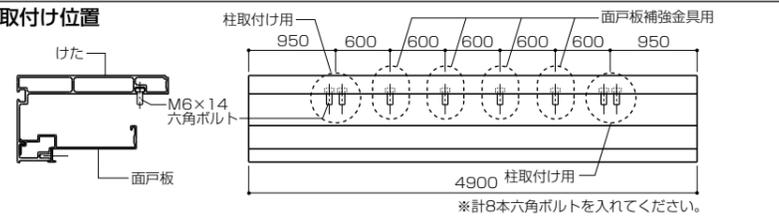
2 けたの組立て

- ①けたに六角ボルトを入れ、指定の位置に配置します。
- ②面戸板補強金具をボルト指定位置に直前に面戸板に引っかけて、六角ボルトを締めます。

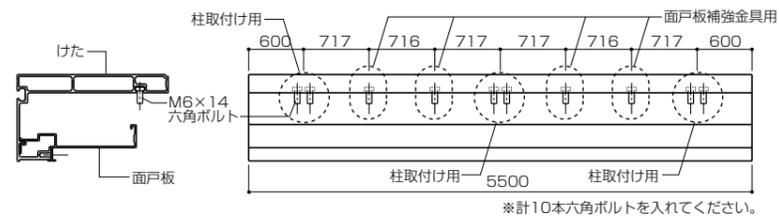


■六角ボルト取付け位置

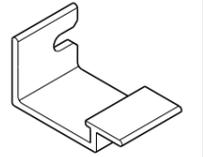
(50サイズ)



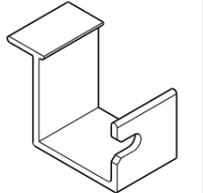
(56サイズ)



●面戸板補強金具 (水外用)

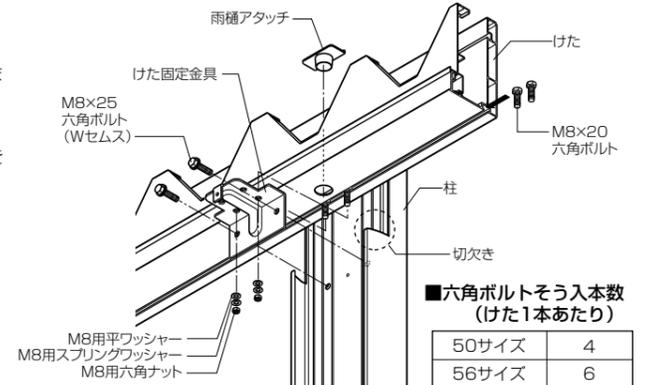
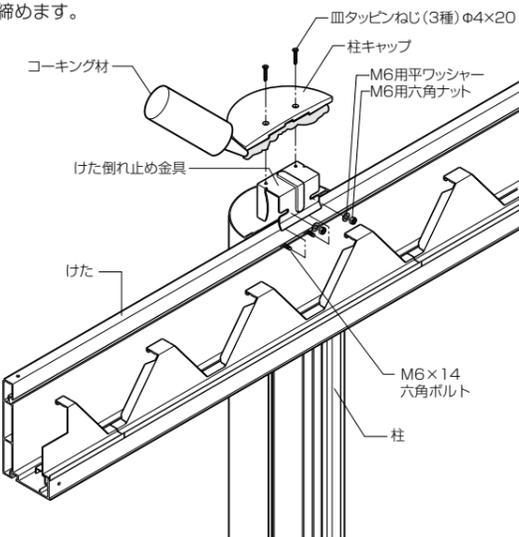


●面戸板補強金具 (水上用)



3 柱・けたの取付け

- ※現場の状況に応じて、屋根の水こう配方向を決定してください。
 ※けたは取付け前に水上用・水外用を確認してください。
- ①けたに六角ボルトを入れ、けた固定金具を指定の位置に取り付けます。
 - ②柱の切欠きにけたのをせ、六角ボルトで柱に固定します。
 - ③けた倒れ止め金具を柱・けたに差し込み、で入れた六角ボルトを締めます。

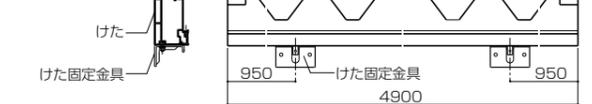


■六角ボルトそう入本数 (けた1本あたり)

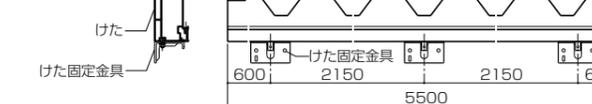
| | |
|-------|---|
| 50サイズ | 4 |
| 56サイズ | 6 |

■けた固定金具取付け位置

(50サイズ)

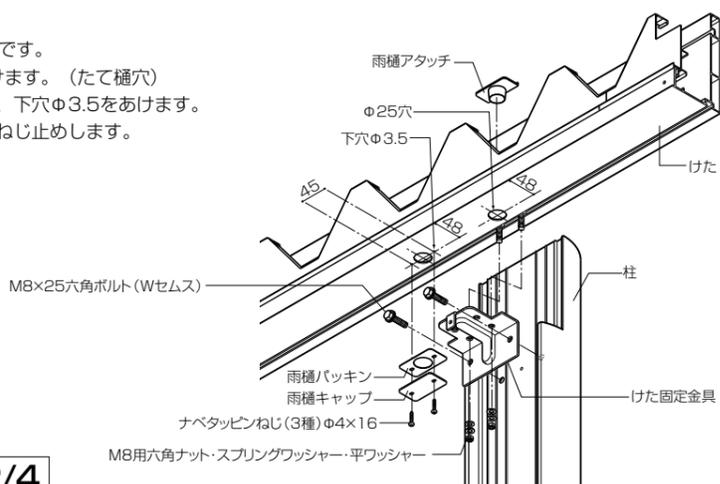


(56サイズ)



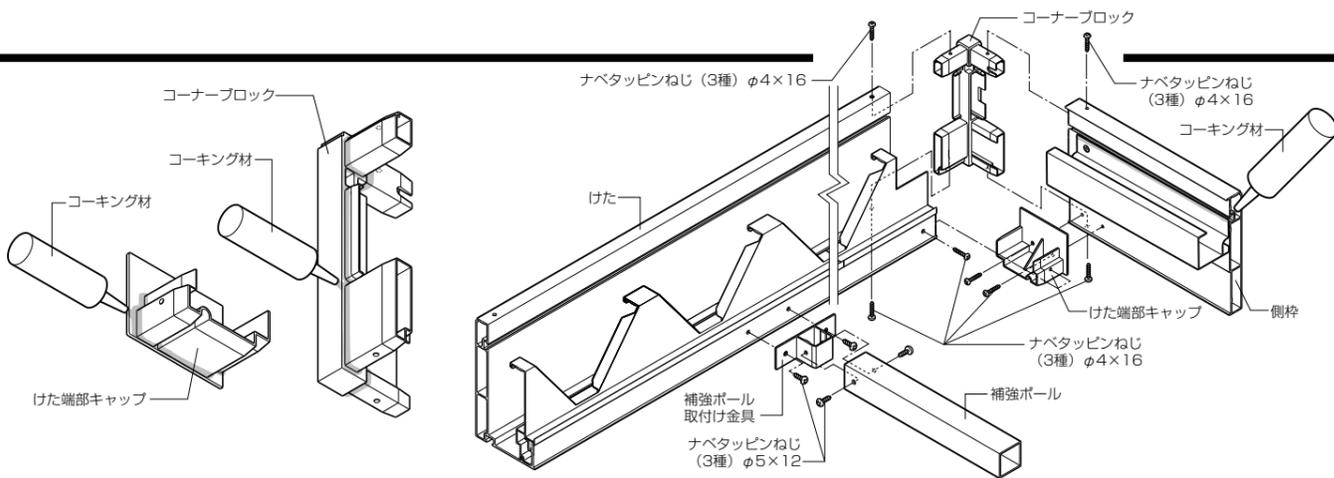
■柱を移動する場合

- ※柱の移動範囲は±150mmです。
- ①取付け位置にφ25穴をあけます。(たて樋穴)
 - ②使用しない標準穴の両側に、下穴φ3.5をあけます。
 - ③雨樋パッキン・キャップをねじ止めします。



4 側枠・補強ボールの取付け

- ①けた端部キャップ及びコーナーブロックに、コーキング材を充てんします。
- ②側枠にけた端部キャップを固定します。
- ③側枠にコーナーブロックをねじ止めし、けたにはめ込んで固定します。
- ④補強ボールに補強ボール取付け金具を固定し、けたに取り付けます。



5 対角・水平・垂直出し

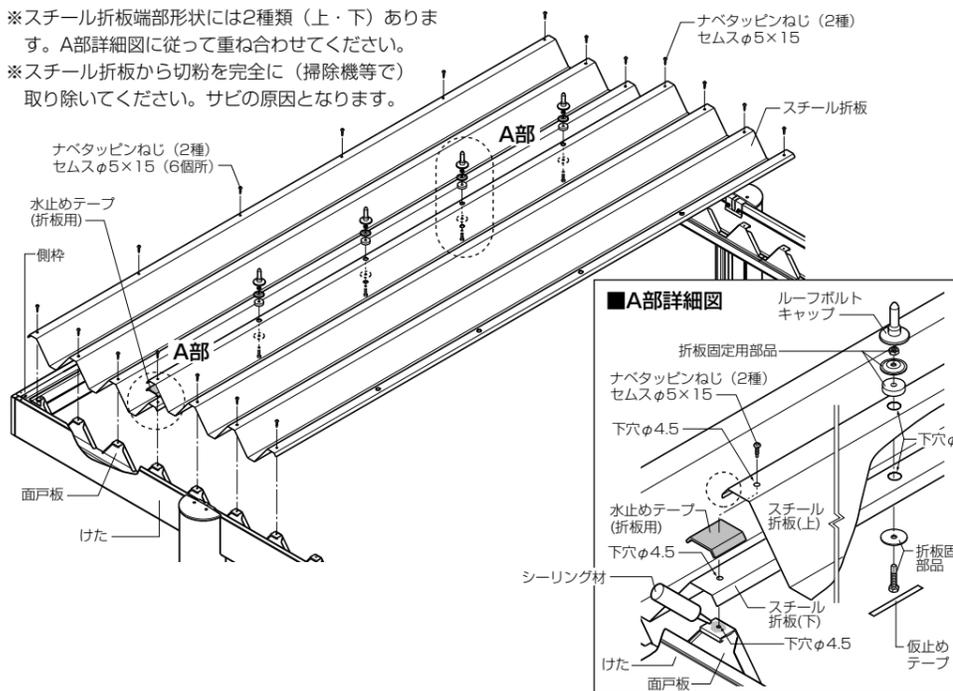
- 屋根枠まわりの対角・水平、及び柱の垂直を出します。

6 屋根材の取付け

1. スチール折板の取付け

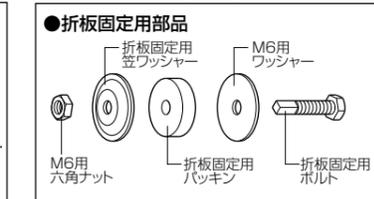
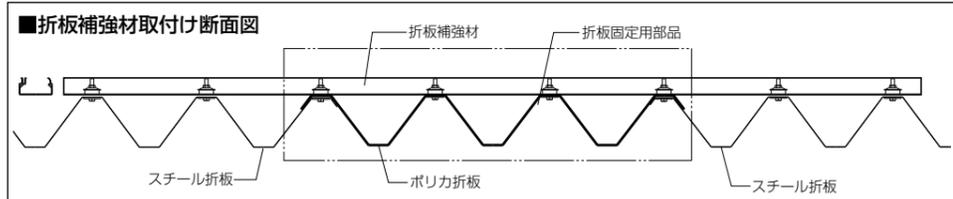
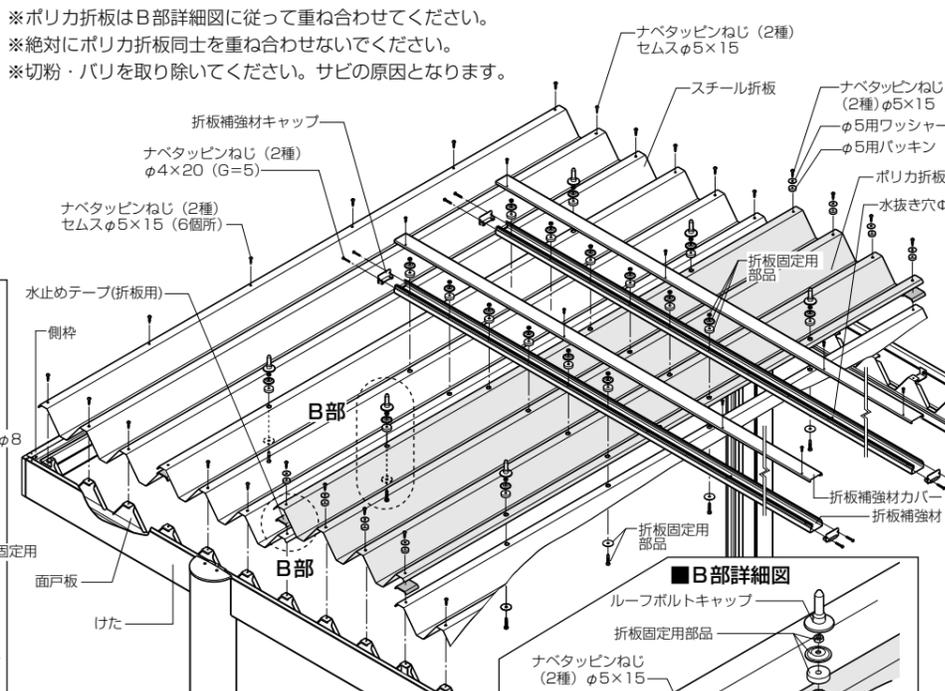
- ①スチール折板端部を重ね、屋根枠にのせます。
- ②重ね合わせ部に、下穴φ8を4箇所あけます。
- ③重ね合わせ端部に水止めテープを張ります。
- ④下から折板固定ボルトを差し込み、仮止めテープを張ります。
- ⑤ナットで固定し、仮止めテープをはがします。
- ⑥側枠に下穴φ4.5をあけてシーリング材を充てんし、スチール折板をねじ止めします。

※スチール折板端部形状には2種類(上・下)あります。A部詳細図に従って重ね合わせてください。
※スチール折板から切粉を完全に(掃除機等で)取り除いてください。サビの原因となります。



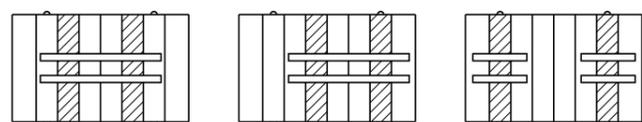
2. ポリカ折板の取付け

- ①ポリカ折板をスチール折板に重ね、けたにのせます。
 - ②重ね合わせ部に下穴φ8を4箇所あけます。
 - ③折板と同じ要領で取り付けます。
 - ④折板補強材の中程(折板谷部)に水抜き穴φ5をあけます。
 - ⑤両端に折板補強材キャップを取り付けます。
 - ⑥取付け断面図に従い、折板補強材をポリカ折板・スチール折板に固定します。
- ※ポリカ折板はB部詳細図に従って重ね合わせてください。
※絶対にポリカ折板同士を重ね合わせないでください。
※切粉・バリを取り除いてください。サビの原因となります。

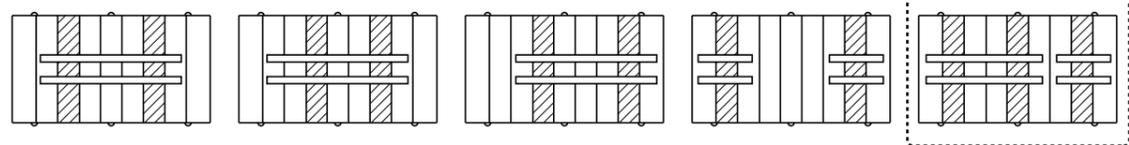


■ポリカ折板取付け可能位置 ※◎部…ポリカ折板

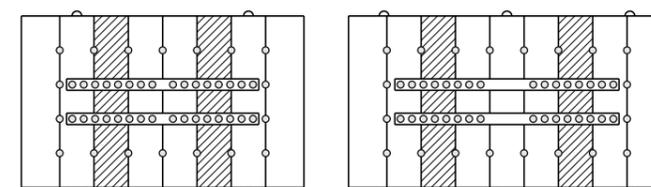
(50タイプ)



(56タイプ)

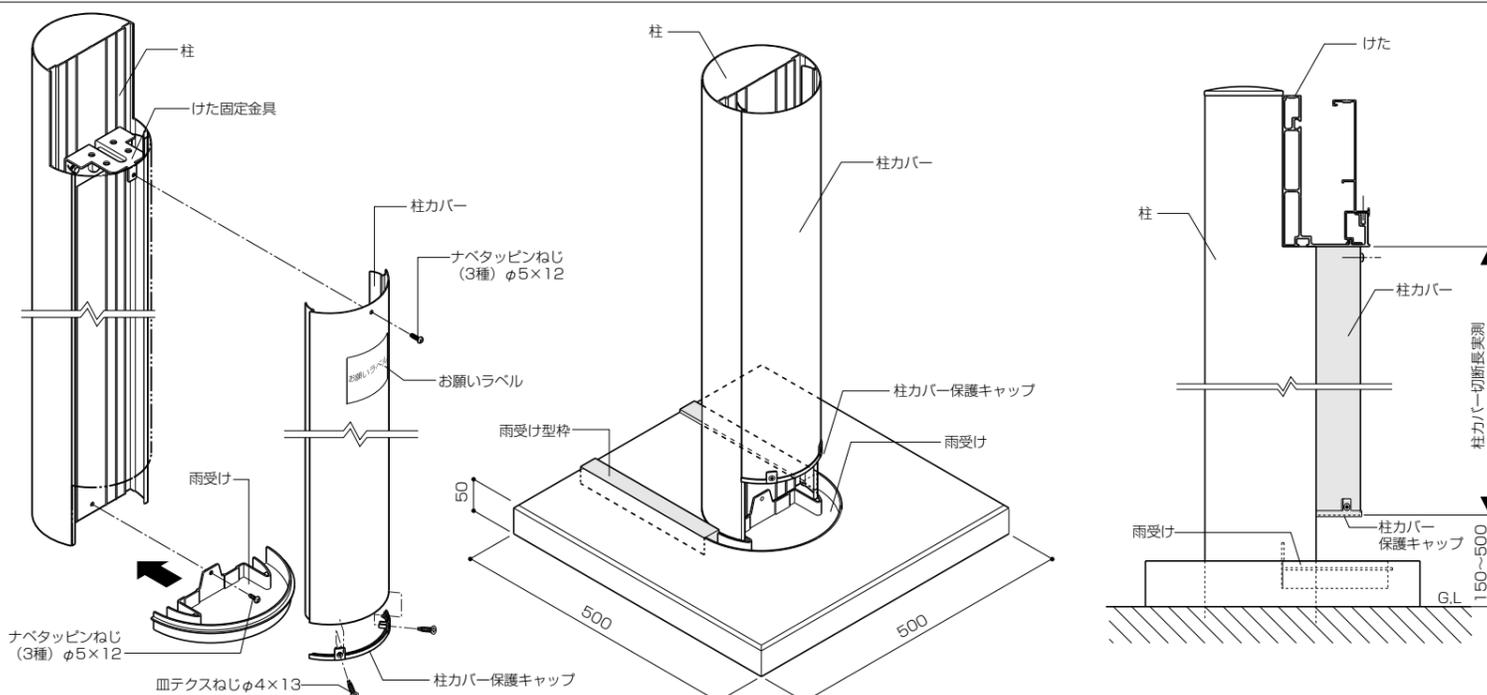


■折板固定用部品取付け位置 (50サイズ) (56サイズ)



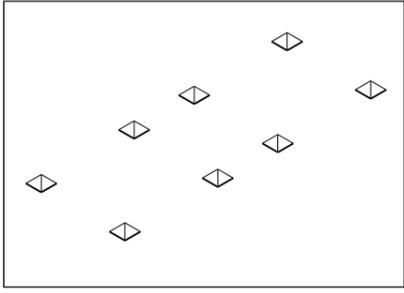
7 柱カバーの取付け

- ①雨受けを柱に取り付けます。
※凍上のおそれのある地域の場合、雨受けは取り付けないでください。地盤の変化により、雨受けが破損する可能性があります。
- ②柱カバーを必要な長さに切断し、柱にはめ込みます。
※柱カバーは下端が雪に埋まらないよう、G.L.面より150mm~500mmの間で現場の積雪量に応じて離して取り付けてください。柱内の排水(雨水)が凍結し、柱カバーが破損するおそれがあります。
- ③柱カバー保護キャップを柱カバーに固定します。
- ④雨受け型枠を取り付けます。
※雨受け型枠は現場で用意してください。
※雨受け型枠は、コンクリートが固まった後、取り外してください。



■連棟タイプの取付け

1 基礎の施工



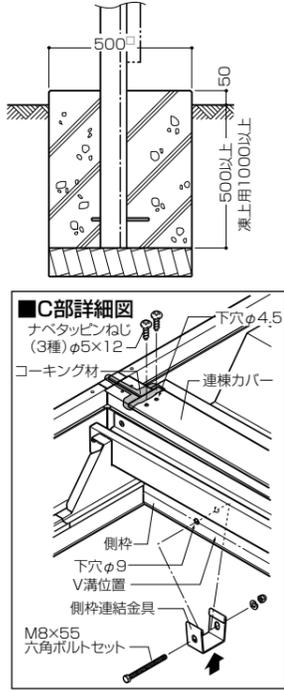
●柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。

2 本体の取付け

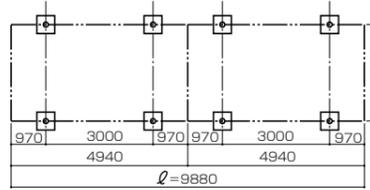
●標準タイプと同じ要領で取り付けます。

3 連棟

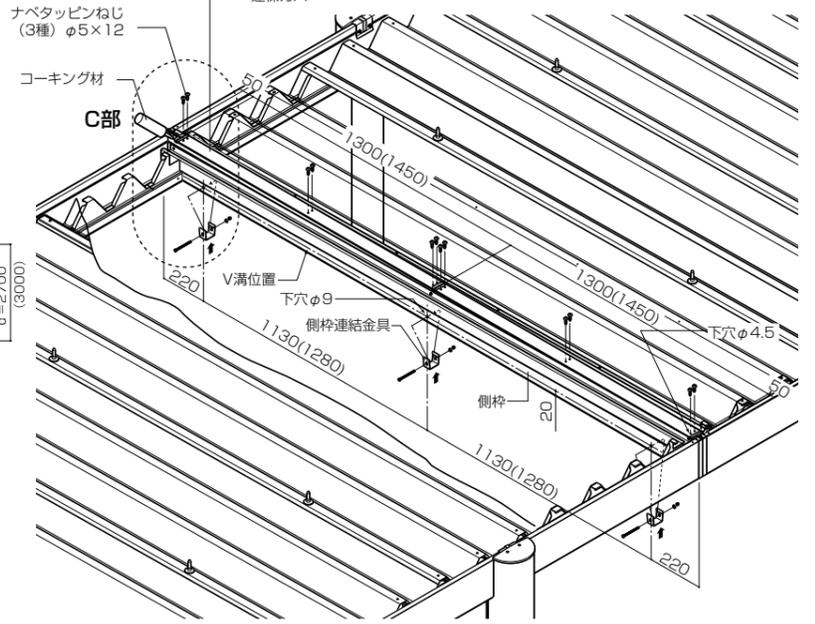
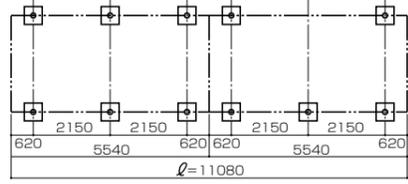
- ①側枠のV溝に下穴φ9をあけ、側枠連結金具(3個)をボルト・袋ナットで固定します。
- ②下穴φ4.5をあけ、側枠の上に連棟カバーを取り付けます。
- ③連棟カバーの継ぎ目及び端部に、コーキング材を充てんします。



■墨出し位置 (50サイズ)



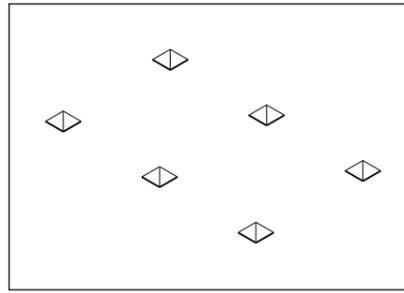
(56サイズ)



※ () 内寸法は30サイズ

■合掌タイプの取付け

1 基礎の施工



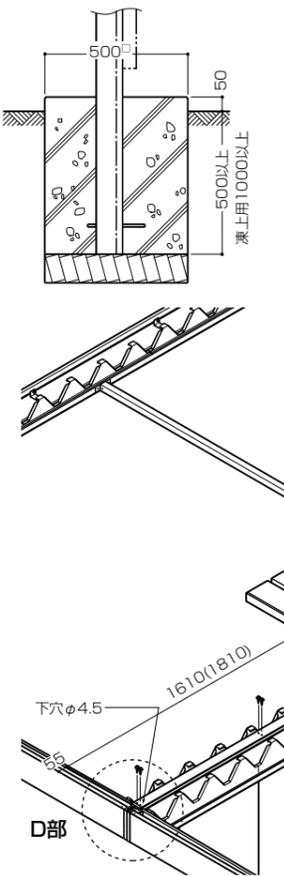
●柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。

2 本体の取付け

●標準タイプと同じ要領で取り付けます。

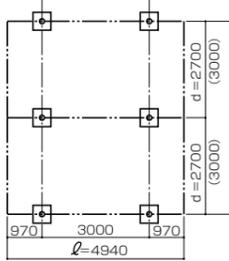
3 合掌

- ①けた合掌部にけた固定金具を取り付け、合掌柱を固定します。
- ②下穴φ4.5をあけ、けたの上に合掌カバーを取り付けます。
- ③合掌カバーの継ぎ目及び端部に、コーキング材を充てんします。

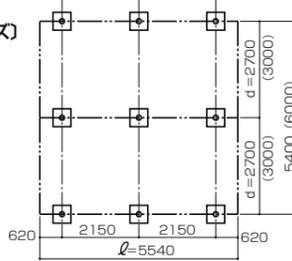


■墨出し位置 (50サイズ)

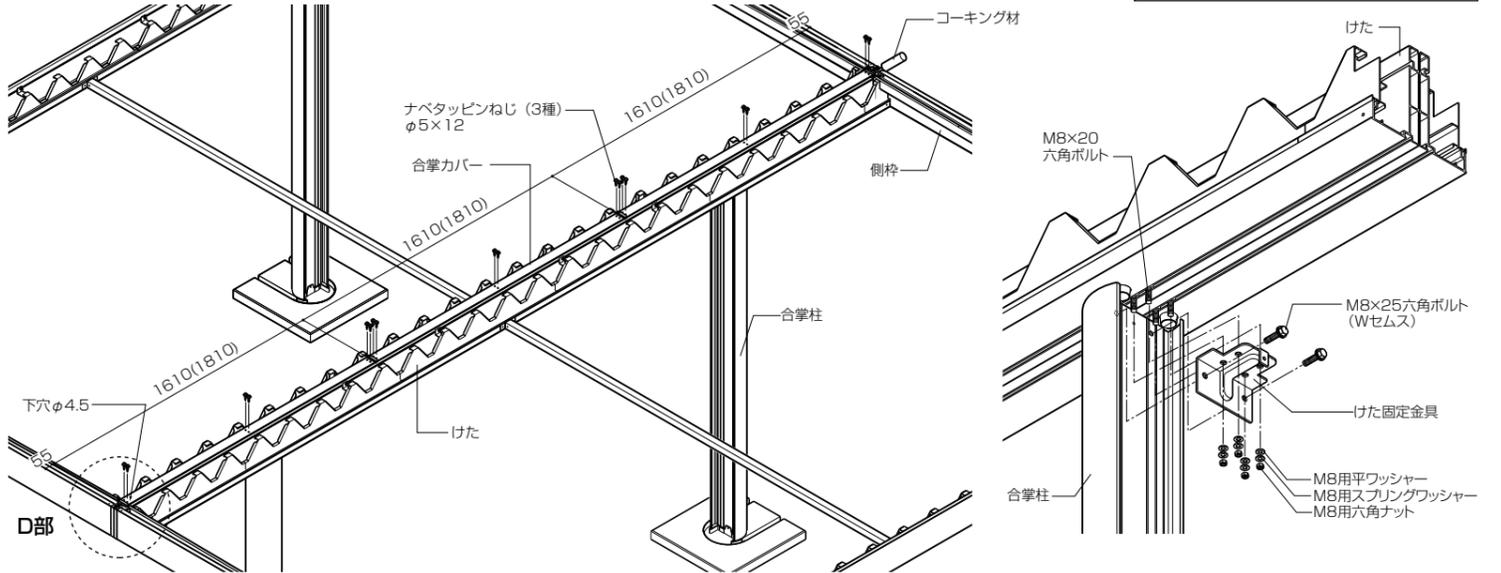
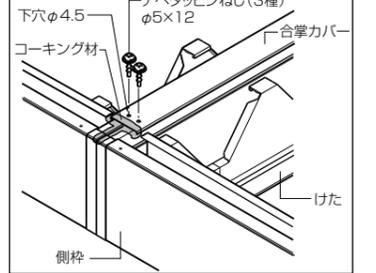
※ () 内寸法は30サイズ



(56サイズ)



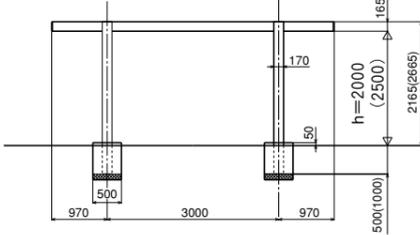
■D部詳細図



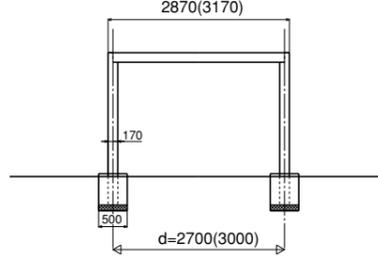
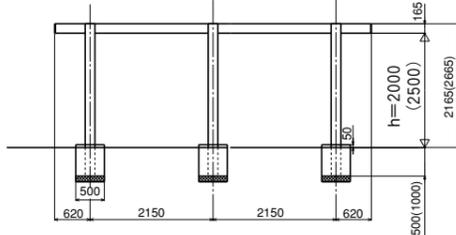
■姿図・基本図

〈姿図〉

●50サイズ

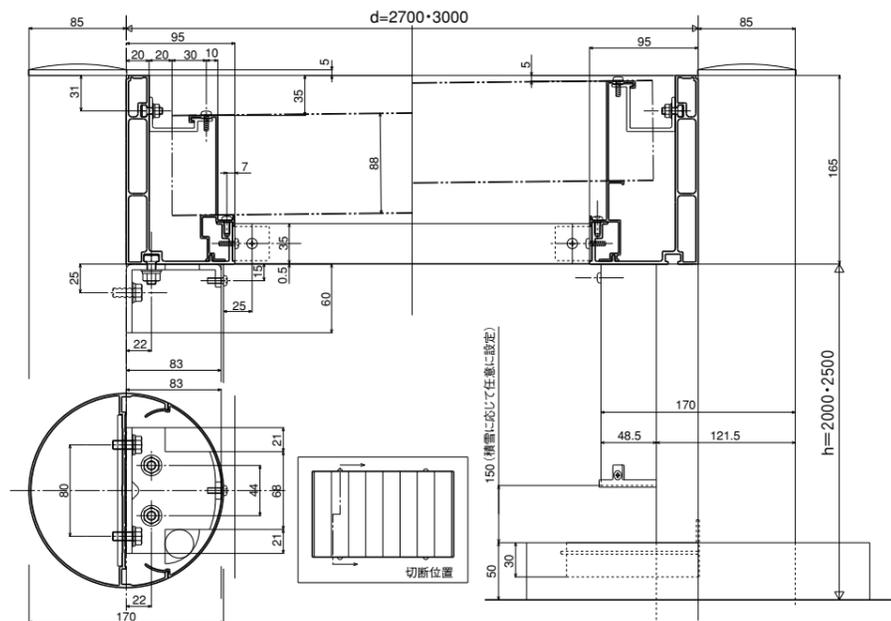


●56サイズ



〈基本図〉

●幅方向断面図



●長さ方向断面図

